

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/5/18

No. 39

賛同署名総数は	199,447	筆 筆 筆
5/17まで		
*オンライン署名	6,244	
*署名用紙署名	193,203	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。
HPまたは事務局へお問い合わせ願います。



スマホはこちらから

みやぎ生協・コープふくしま
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の
海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。



みんなの思いが海を守る！
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」
報告集会

2022年4月8日

みやぎ生協・コープふくしま
大越 健治 専務

◆みんなの思いが海を守る！

「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」

4・8報告集会に参加されたみなさまの感想を紹介します。////②



◇報告者の皆さまありがとうございます。
感謝と感動の声が届いています。

・処理水問題を通して、日本の国としての姿勢が問われていることと認識させられました。全国で真剣に取り組まれている皆さんがいることに力強さを感じとてもありがたく思いました。東北の復興は全国のみなさんの熱い思いに支えられていたこと、そして現在もなお続いていることに感動しました。感謝の気持ちでいっぱいです。(宮城県)

・全国の皆様の取り組みや思いを聞くことができ、私たちの住む福島を大切にしていきたい気持ちが強くなりました。学ぶこと、知ることを大切にしながら、自分たちのふるさとを守るよう、できることを行っていきたいと思えます(福島県)

・全国の協同組合関係者が中心となってとりくんだ署名の成果として、冒頭、野中副理事長よりご報告をいただいた、4月6日付の福島民報記事内容(関係者の理解なしには、いかなる処分も行わないということ)に感動しました(福岡県)

みやぎ生協・コープふくしま
野中俊吉 ふくしま県本部長

□各団体からの報告に驚きと感動を覚えた方が多かったようでした。福島、宮城だけでなく全国各地で思いを持って署名に取り組んでくださり、本当にありがとうございます。

・みなさんの熱い思いを聞き、もう一段ギアを上げて取り組んでいこうと思いました(東京都)
・処理水の放出をもし決めてしまったら、これから30年以上、政府は「あの時決めたことだから」と言って、何も見直すことなく無反省に流し続けるだろうと思います。今を生きるものとして、将来の人たちに申し訳ないことは極力避けたいです。原発の処理も、汚染水のことも安易な決め方をしないよう、再稼働反対、処理水放出反対を続けていきましょう。(岩手県)

・19万を超える署名の背景には、署名のよびかけ団体や全国のみなさんのさまざまな思い、がんばりがあることがよくわかりました。引き続き、声を上げ続けたいと思えます。がんばりましょう！(福島県)
・すでに署名を終えた者として、あとはどんなことができるのかな。。と考ながら書いておりましたが、このような報告会に参加したり署名運動の推移に関心を持ち続け、身近なひとに伝え続けようと思いを新たにしました(宮城県)

・これまで手探りで活動していましたが、他生協・他団体の皆さまの活動を知ることができ、大変勉強になりました。3月にコープおおいでは地域別総代説明会を開催し、その中でもALPS処理水反対署名に関する意見・質問は多かったように思えます。今後も広報活動や周知に力を入れてまいります。次回集約の6月末、9月末まで駆け抜けていきます。今後ともよろしく願いいたします(大分県)
・地元の理解なしでは放出させない、この思いで引き続き海洋放出反対し、署名の呼びかけ、情報発信していきたいと思えます(岩手県)
・情報発信の大切さ、教育の課題にもしてほしいことだと思います。中学生、高校生にも感じてほしいです。福島原発は何のために作られたのか？それに関連している人たちはどう思っているのか？(宮城県)

・各団体でどのように署名活動を行っているのか聞くことができ、勉強になった。アルプス処理水をわかりやすく伝えること、何がダメなのかをきちんと勉強することが大切。今後も学習会を通して正しい理解が必要だと感じました(宮城県)
・一人ひとりに書いて頂いた署名が大きな力となり、政府や東電に思いが伝わったと聞いて、ほっとしました。これからも継続しての取り組みが重要だと改めて感じました。自分たちで気持ちを継続していくために出来る事を考えていきます。ありがとうございました(福島県)

・安全安心の水産物を目指して11年前から努力されてきたみなさまの思いをすべて無駄にしてしまう海洋放出はあってはならない、生産者も利用者もすべての人が納得する説明がない限り、反対の意思を伝えていかなければと思いました(宮城県)
・大変なためになりました。署名をして終わりではなく、この問題を広く友人知人に伝えて関心、共感をもってもらえるよう、自分でできることを考えたいと思えます(宮城県)



宮城県生協連
野崎和夫 専務



みやぎ生協・コープふくしま
尖戸義広 ふくしま県副本部長

□署名の力、一筆一筆の重みを改めて感じる事ができました。
これからもできることを最大限おこなっていききたいと思えます。



<編集後記>erikoのつぶやき

ひとりひとりが基本的な感染対策はしながらも、行動制限が緩くなり、これまで我慢していた様々なことを楽しめるようになってきました。GW・盆暮れは地元の友人との呑み会が慣例でしたが、この2年間で交流の場は夜から昼へとすっかりシフト。健全な生活に、就寝時間・起床時間が日に日に早まる編集者です。美味しいものを食べたい気持ちはもちろんですが『何を食べるか』よりも『誰と食べるか』が重要だと感じる今日この頃。何を食べてもどんな場所でも、大好きな家族、大切な友人と一緒に、その空間が心の栄養になると気づいたコロナ禍でした。



2022/5/13福島民報記事より

■ふくしま復興共同センターが街頭運動
県労連などでつくる「ふくしま復興共同センター」は11日、福島市のAXCビル前で繰り広げた＝写真＝。代表委員の齋藤富春県労連議長ら十人が参加し、東京電力福島第一原発で増え続ける放射性物質トリチウムを含む処理水の海洋放出反対などを訴えた。署名活動も実施した。



【学習会を考られている皆様へ】学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 尖戸)

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop(根本)

